

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称	城山運動公園屋内体育施設	
建設地	西蒲区 峰岡字城山610番地外	
用途地域	指定なし	
建物用途	集会所	
竣工年	2015年3月 竣工	
敷地面積	14,394.92 m <sup>2</sup>	
建築面積	3,608.75 m <sup>2</sup>	
延床面積	3,505.06 m <sup>2</sup>	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2014年3月28日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.3}{44.5} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.7		バリアフリー	3.0
			維持管理	5.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	2.0		建物の熱負荷抑制	1.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

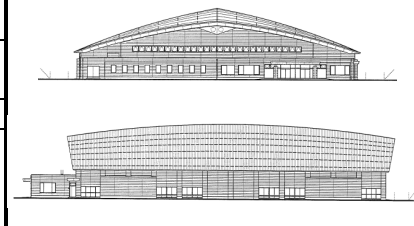
長寿命化の取組みについては、内外装材を維持管理が容易に行える材料を選定した。資源循環の取組みは、節水コマや節水型便器を使用する計画、構造躯体と仕上材が容易に分別可能な計画及び、敷地内舗装に再生骨材を利用する計画とした。水と緑を生かす取組みは、敷地内の空地を可能な限り確保することで、通風を確保した。また、既存樹木・地被植物を積極的に保全することで、公園内の自然環境を極力損なわず、地表面温度の上昇を抑制するように努めた。

# CASBEE®新潟

# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年補正版(BEI対応)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	城山運動公園屋内体育施設	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市西蒲区	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,000時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 竣工	評価の実施日	2014年3月28日
敷地面積	14,395 m <sup>2</sup>	作成者	(有)像設計事務所
建築面積	3,609 m <sup>2</sup>	確認日	2014年4月10日
延床面積	3,505 m <sup>2</sup>	確認者	中村 優晴



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 69%

③上記+②以外の 69%

④上記+ 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 計画建築物は、市街化調整区域の城山運動公園内の一角に設計した球-ツの練習場である。広大な敷地の中には、野球場等の屋外運動場、緑豊かな公園が整備されており、「隣接する施設との機能的連帯」「地域の歴史及び景観及び風土への配慮」を総合的なコンセプトとした。これを球-ツの練習場に要求される機能に付加し、快適な運動施設となるように目指した。		敷地内の植栽を可能な限り保存することで、この土地の風景を残し、長年利用者の絶えない愛着のある建築物となるように計画した。
<b>Q1 室内環境</b> 使用建材にはF☆☆☆☆を全面的に使用し、シックハウス対策を徹底した。また施設の性格上、管内を全面禁煙とし、施設環境の向上を図った。	<b>Q2 サービス性能</b> 運動部門・附属諸室について、それぞれの使用用途に対応した内装材・照明設備を計画した。また内外装材には、維持管理が容易に行える材料を選定し、建築物の長寿命化に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の空地を可能な限り確保することで、通風を確保した。また、既存樹木・地被植物を保存することで、公園内の自然環境を極力損なわず、地表面温度の上昇を抑制するように努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明設備を全てLED照明器具とすることで照明エネルギーの削減を図った。また一次エネルギーの消費量を抑制するため、設備の高効率化を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 汚染物質含有材料の使用を回避するため、H2O2消火剤を一切使用しない計画とした。敷地内舗装等に再生骨材の使用、部材の再利用可能性向上への取組として、構造躯体と仕上材が容易に分別可能な計画、節水型衛生器具の選定、消火用水への雨水利用等、省資源・リサイクルに努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を運用段階で抑制し、地球温暖化への配慮を図った。適切な量及び広さの駐車スペースの確保・導入路の位置等の検討を行い、周辺道路への交通負荷抑制に配慮した。また屋外照明を設けず、施設の適切な照明計画となるよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される